

8月定例会市議会報告

日本共産党野洲市議団



野洲川から見る三上山



「消費税増税するな」の意見書 公明党・保守系反対

今任期最後となる8月定例会市議会は9月20日まで開催されました。共産党市議団は、一般質問や議案審議で暮らしの要求実現を求めました。3本の意見書の提案を行いました。

共産党市議団は8月議会に、市民のみなさんの平和と暮らしを守る願いを込めた、「消費税増税反対の意見書」「オスプレイ配備撤回、饗庭野演習場での訓練反対」「介護保険の要支援1・2を保険から外さないことを求める意見書」を提案しました。

オスプレイを使って高島市饗庭野演習場で訓練を行うことは許されません。介護保険から要支援を外したら深刻な問題となります。これら意見書に公明党や保守系会派は反対しました。

新病院整備の予算が通りました

今議会に新病院整備のための構想策定委託のための予算が計上されました。現野洲病院がなくなるとすれば、市民の命と健康を守る新病院の整備は必要です。

市議会でも議論がされてきましたが7名が反対であったため市長が「検討の凍結」をしていましたが、今議会に進めるための予算を提案したものです。予算には、井狩・立入・市木・坂口議員の4議員が反対しました。

8月定例会市議会の主な議案の態度

議長は採決に加わらず。田中孝嗣議員は欠席 (○=賛成、●=反対)

議案	共産党	公明党	野洲ネット	野洲新風クラブ	政友会	新政クラブ
	新病院の整備を進めるための基本構想策定委託の補正予算					
高い国保税を押し付ける国民健康保険会計決算						
消費税の増税中止を求める意見書 自公民が強行する来年4月実施の増税をやめるよう求めました						
オスプレイ配備撤回、饗庭野演習場での訓練中止を求める意見書 10月に高島市でオスプレイを使った日米合同訓練が。「訓練やめよ」を求めました			○	○		
介護保険の要支援1、2を保険から外さないことを求める意見書 政府は介護保険から要支援を外そうとしています。これに反対する意見書です						

市政・市議会へのご意見・ご要望をお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話・FAX)589-4971
 野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
 太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索

決算審査
国保会計

払いたくても払えません！ 引き下げを求めました 国保税の大幅値上げで、約3億円もの剰余金

国保会計の平成24年度決算では、「国保税が余った」と言って、基金と繰越金が実に2億8712万円にもなっています。これは3年前、「国保会計が大変」と言って、30%もの大幅な値上げを行った結果です。

そもそも国民健康保険制度は法律に基づく社会保障制度です。にもかかわらず、大幅な値

上げに加え、市は「国保は互助制度・医療保険間の公平性」と言って、一般会計からの繰り入れを大幅に減額し、高い国保税に追い打ちをかけました。

共産党市議団は、一般質問や議案審議で「払えない人には保険証まで取り上げている。国保税の引き下げを行うべき」と求めました。



一般質問

「山・川・琵琶湖」を生かした野洲市のまちおこし・観光、産業を



小菅六雄

総務常任委員会委員。議会改革特別委員会委員長。議会運営委員会委員。

現在、野洲市では市民レベルで家棟川観光遊覧船や野洲でんくうの会を始め多様な市民活動で環境保全や観光振興の取り組みがされています。市民レベルへの支援はもちろんです。行政自身が野洲市の「山・川・琵琶湖」を生かしたまちおこし・環境・産業施策を立て積極的に取り組むべきであることを求めました。市は「指摘されたことについてはやっていきたいと思うが、まちづくりは支援だと考える。市主体では持続可能性を阻害するのではないかと考える」との答弁でした。

戦争への道、9条改悪を許すな

安倍首相が進める憲法96条（改正条項）改定は、アメリカの行う戦争に自衛隊が参加するために、戦争放棄条項（9条）を改悪するためのものです。市民の平和と安全に責任を持つ市長としての見解を質問しました。市長は「現行の枠内で対応可能。改正の必要はない」との答弁でした。

学童保育の土曜日保育の実施と入所基準の見直しを

一般質問



野並享子

文教福祉常任委員会委員。湖南広域行政組合議会議員。

高齢で病弱な祖父母から「毎週土曜日、二人の男児の孫を見ており、とても身が持たない。土曜保育を」と言う声を聞き質問しました。市は「要望は聞いています。アンケート調査を行っており、課題を整理し検討すべきと考えている」と答弁しました。祖父母が6歳で定年退職した家庭は、退所しなければならぬ状況の改善を求めました。しかし、「65歳以上の祖父母なら預かっている」との答弁で入所を認めません。実態に合わない基準の見直しが必要です。

景観条例に基づく駅前開発を

新病院整備を議論する「基本構想検討委員会」は、駅南口の景観も考え圧迫感のない空間が必要であり、景観審議会での議論が必要。また、企画調整課だけでなく、都市計画課もかわりを持つべき」と求めました。答弁では「進捗状況も含め審議会にかける。都市計画課だけでなく、市民部、文化、健康、街づくりの観点から、関連課も情報を共有する」と述べました。

一般質問

小学校の少人数学級実施と加配教員の充実を



太田健一

環境経済建設常任委員会副委員長。守山野洲行政事務組合議員。

市内の小学校で新学期から授業が成り立たないような状況にあるクラスが複数あると聞いています。この問題の根本的な問題として担任教員が生徒と向き合う現実的な時間や精神的な心の余裕がないなど、教員の置かれている現状があります。具体的な対応として、少人数学級の実現や加配の支援員の充実が必要である」と求めました。教育委員会は、「国、県に対して少人数学級編制の早期実現を要望している」との答弁でした。

ブラック企業の実態調査と市内企業への指導を

若者を使い捨てるブラック企業が問題となっており、共産党の国会での追及により、国による実態調査が始まっています。野洲市内でも、雇用の調査や企業への指導が必要と求めました。答弁では「市だけの把握は出来ていない。ハローワークと連携しながら商工会や工業会に働きかけていく」との答弁でした。